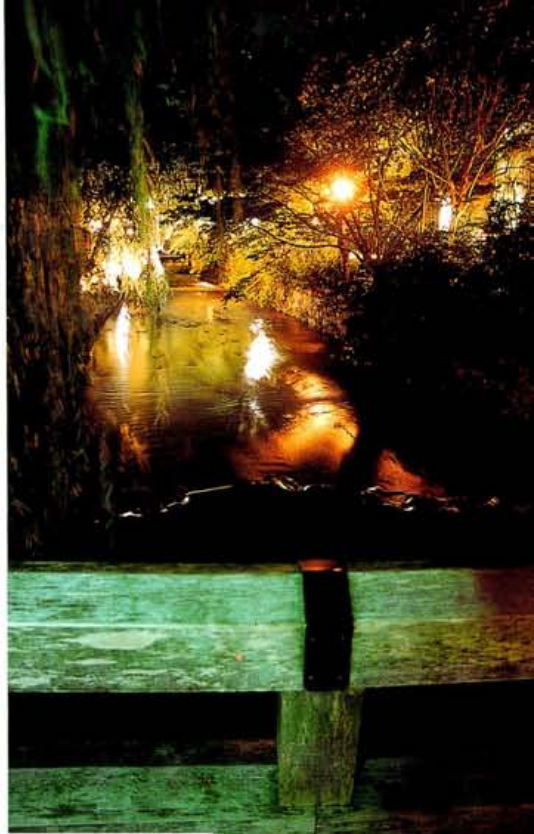




東山・嵯峨
京都、
秋の名勝に行く

川と山に綺麗に挟まれ、
繁華と自然をたたえる、
東山の秋。

東山



八坂神社、知恩院、清水寺に高台寺といった神社仏閣の数々。そして南座、花見小路通、辰巳神社、総じて祇園…。東山と一口に言っても、その魅力の一つひとつの言葉に砕いていくと、あまりにも数は多い。

祇園という界限は、高台寺や安井金比羅宮にも接点を持つ。この日本有数の華の街の外郭は神社仏閣に富み、繁華の香る景観保存地区の街並みとは、また違った表情を見せもする。

その祇園を中心に、西に歩けば鴨川の眺めが、



牛禅
ぎゅうぜん

しゃぶしゃぶ・すき焼き・焼きしゃぶ等の食べ放題コースを、2075円(税込)から6090円(税込)まで。ヴァリエーション豊富に御用意。旬の京野菜を使ったお野菜・お肉・うどん・餅が120分間食べ放題というのも、うれしい。高い天井・全席密りごたつ形式のお座敷・大小9つの個室で、'ほっこり'できる。'CFを見た!'で各食べ放題コースを10%OFFの割引も受けられる。

■京都市東山区祇園町北側323 祇園会館4F
☎075-533-3344
◎日~木17:00~23:00
金土祝前日17:00~24:00/無休
【平均予算】3500円 <http://www.gyuzen.com>



登録商標
いもぼう
いもぼうひらのやほんけ
平野家本家

祇園から八坂神社を抜けて、円山公園内に同店は佇む。海老芋と宮中への献上品である棒鱈を炊き合わせた名物「いもぼう」は、かのノーベル賞作家・川端康成も絶賛したという一品。この一子相伝の技と味を守り続けて数えること十四代、約三百年。この名物を中心に京料理を堪能できる本物の老舗だ。会席料理は8000円〜で要予約。

■京都市東山区円山公園内
☎075-525-0026
◎11:00~20:30 (L.O.20:00) /無休
【平均予算】3800円



おたべ
おたべなんもんていてん
南門亭店

押しも押されぬ名店の八つ橋の名店。特に同店は、知恩院の南門横にあり、付近には国内最大の三門・銅鐘や八坂神社など、観光的にも見所が多い。名代の八つ橋は、粒あん入りの他、秋おたべなど、近年では季節限定のバリエーションも増え、紅葉の時期に合わせて11月限定で行われる「焼おたべ」実演販売は、行列が絶えないほどの人気。

■京都市東山区林下町
☎075-531-2108
◎9:00~17:00/無休
※11/6~11/28のみ9:00~21:00まで営業

目抜き通りから画に描いたような

風光明媚を辿る、嵯峨の秋。

東山・嵯峨
京都、
秋の名勝に行く。

嵯峨・嵐山。京都を、そして日本を代表する名勝の地は、秋の訪れとともに見事に活気づく。この嵯峨エリアと嵐山エリアを含む右京区と西京区は、京都市の西端に位置する。そこには街なかとは全く異なった空気の密度と、空気の温度がある。そしてそれこそが、「自然」と呼ばれるものなのだ。

新丸太町通から野宮神社や天竜寺、京福電鉄の嵐山駅を抜け、桂川に架かるかの渡月橋へと至る長辻通は、界限きっての目抜き通りと言え



嵯峨



京料理
とりよね

酒の神としても名高い、界限きっての観光地・松尾大社の鳥居の真横に位置する。名物の鶏の水煮は5250円。二日かけて煮込んだスープは濃厚な鶏の旨味とともに、目に見えてコラーゲンも豊富。特筆すべきは同店内にある野趣溢れる岩風呂。利用客は無料で入浴できる（要予約）。旅行気分まで味わえるという寸法だ。

■京都市西京区嵐山朝月町66
☎075・872・7711
●11:00～22:00 (L.O.21:30) / 永休 (祝日の場合は営業)
【平均予算】昼1500円 夜3000円



えんむすび特別祈願受付中

京都、嵯峨野で えんむすび

嵯峨野めぐり起点 嵐山より歩いて5分



るだろう。人々はこの通を中心に嵐山を堪能する。もし賑わいから、少し離れたらと思つたら、その目抜き通りから、ほんの一筋、ほんの数メートル逸れるだけでいい。夏ならば青々と茂る竹林が、秋ならば色づく紅葉が溢れ、立ち位置を変えたそのわずかな距離が目に見える景色と風を変えてくれるのも、この界隈の特徴だ。

そして渡月橋を境に大堰川と名前を変える桂川。その境を跨いで川沿いを歩けば、自然の風景という名の豊かな木々の恵みを得ることができらるだろう。画に描いたような自然がこの界隈にはある。川を渡れば、さらに落ち着いた風情を見せる川の対岸、南側。渡月橋の南端から、太古のこの地の人々が松尾山の神霊を祀り守護神としたのが起源といわれる京都最古の神社・松尾大社まで、ゆっくり歩けば小一時間の距離となろうか。それだけにこの間でも充分界限の自然を堪能できる。そしてその自然をして、古来我々は「風光明媚」と呼び慣わしてきたのだ。

京都を代表する名勝の中でも、くつと自然に寄つたところ、それが嵯峨の秋である。

10月17日(日) 齋宮夢行列



正午 野宮神社出発～14時 嵐山北乗船場着

源氏物語 恋の神様

のみやじんじゃ

嵯峨野の宮 野宮神社

〒616-8393 京都市右京区嵯峨野宮町一

TEL.075-871-1972

E-mail kakeno@jinja.or.jp

HP <http://www.nonomiya.com/>



よーじや 嵯峨野嵐山店

創業明治37年(1904年)という、京都を代表する化粧品や化粧雑貨の老舗。「あぶらとり紙」はあまりにも有名。同店は系列店の中でも京都の商家らしい一軒で、物販だけでなく、併設のカフェもオープンしたばかりで、肌にも舌にも良い店となった。観光ルートのだ真ん中、京福嵐山駅から徒歩300m、アクセスも良い。

■京都市右京区嵯峨天龍寺石町2-13
☎075-865-2212
カフェ☎075-865-2213
◎10:00～17:30(10月・11月のみ9:00～17:30)/無休



湯どうふ 竹むら

紅葉が自然の風物詩なら、湯豆腐は京都の食の風物詩。煮立ったお湯の中でゴトゴトと踊り出すと食べ頃となる豆腐に、秘伝のダシ醤油を注いで賞味する至福。その他、伝統の味を保つ柚子釜や、吉野葛で練り上げた胡麻豆腐など、しっかりした味と家庭的な雰囲気の基本となるもてなしに長年の愛好者も多い名店である。

■京都市右京区嵯峨天龍寺北造路町48-7
☎075-861-1483
◎11:00～20:00/無休(夏・冬は木休)
【平均予算】3000円